

今後、実施を予定している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	連携に期待する効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
1	総務部 人権・男女共生課	人文学部 准教授 水原 俊博	多文化共生に関する実態調査	R元～	松本市多文化共生推進に向け、基礎データ及び外国籍住民等の生活実態やニーズを把握するため外国籍住民を対象としたアンケート調査を行う	社会調査法を専門とする方との共同調査により、質の高い調査が期待できる。調査結果は、第3次多文化共生推進プラン策定作業に資する。	NPO法人 SCOP	信州大学	松本市	
2	環境部 環境政策課	環境マインド 推進センター 柘津栄治	食品ロス削減事業	R元～	環境学生委員会と連携した啓発事業の検討、展開	これまで周知が届きにくかった若年層への波及効果		信州大学	松本市	
3	環境部 環境政策課	人文学部 准教授 茅野 恒秀	(仮) 松本地域再生可能エネルギー事業化支援ネットワーク	R元～	再生可能エネルギーの事業化支援及び事業化支援に向けた自治体の政策調整	再生可能エネルギー事業を検討している事業者に対し、自治体の枠を超えて事業化を支援をすることで、松本地域における再生可能エネルギーの産業化を促すことができる。	参加を希望する事業者、金融機関	信州大学	松本市 参加を希望する県松本地域振興局管内の自治体	H30.3.19にネットワーク立ち上げのための勉強会を実施（2金融機関、12事業者、2団体、自治体は安曇野市及び本市が参加。塩尻市は話題提供。）
4	健康福祉部 高齢福祉課	総合健康安全 センター 教授 森田 洋	認知症サポーター養成講座	R元～	共通教育科目の「健康科学・理論と実践」講義に、認知症の正しい理解、適切な対応法を学び、認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座を活用していただくもの	松本市を通じて有資格者（キャラバン・メイト）が講義を行うことを、全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録することで養成講座として認定される。令和元年は、1年次生1116人が受講予定であり、認知症サポーターが増加することにより、認知症の方への地域の見守りの向上が期待できる。受講者には認知症サポーターの証である「オレンジリング」が交付される。		信州大学	松本市	